様式第1号の2

事業成果報告書

**(1)　申請者の概要等（複数者による共同申請の場合は、以下表を追加してください）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふ　　り　　が　　な法人名（屋号） |  | 創業年月 | 年　　　月 |
| ふ　　り　　が　　な代表者職氏名 |  | 従業員数 | 名（うちﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ：　　　　　名） |
| 業　種 | 大分類名：(日本標準産業分類の大分類を記載) | 担当者名 | 　 |
| 電話番号（日中連絡がつく番号） | 固定：携帯： | E-mail | ＠ |

**(2)　補助対象事業の区分**

|  |
| --- |
| **①実施した事業**該当する事業の□に✓を入れてください（複数選択可）　□　ア　ＩＴツールの導入及び設備のＩｏＴ化　□　イ　非対面ビジネスモデルへの転換　□　ウ　作業効率の向上を目的とした新システム導入　□　エ　作業効率の大幅な向上が見込める非効率機器の更新□　オ　その他省力化に資する取組として必要と認めるもの**②申請の類型**　該当する申請枠の□に✓を入れてください（一つのみ）　□　ア　通常枠　□　イ　先端設備等導入枠　 |

**(3)　補助事業の概要**

次の各項目について、内容を具体的に記載してください。行は必要に応じて拡大して記載してください。

|  |
| --- |
| **①取組前の企業の現状と課題**〈企業の現状〉〈課題〉 |
| **②補助事業の概要と成果**〈実施内容〉〈効率化等の成果〉　※数値等を使用し、具体的に記入してください。 例）・*急速冷凍冷蔵機の導入により仕込み作業の効率化が図られ、６時間かかっていた仕込み作業が４時間で可能となり、作業効率が50％アップした。（６時間÷４時間×100％＝150％）*　　　*・非対面型受注システムの導入により省力化が図られ、人手不足が解消した。５人で従事していた業務が３人で対応可能となり、生産性が66％アップした。（５人÷３人×100％＝166％）* |